

平成29年 小諸市成人式

一期一会 (この出会いに感謝を)



平成29年1月3日(火)、小諸市文化センターにおいて成人式が行われました。

多くの新成人が出席し、友人や恩師との再会を喜び合いました。

本年の成人式を運営した実行委員の中から実行委員長・副実行委員長に新成人としての決意を聞かせていただきましたのでご紹介します。



芦原中学校関係者

「成人を迎え」

実行委員長 佐藤 佑



成人を迎え、二十歳になり大人の仲間入りをしました。20年という月日が経つのは早いもので、ついこの間まで高校生・中学生だった気がし、そのころは、早く大人になりたいと思っていたのが今では大人の仲間入りを迎えることになりました。

私は、高校を卒業して設備の仕事をする職場に就職しました。設備は、水回りのことをやっており穴を掘ったり、床下に潜ったり、他にもいろいろなことをしており、社会人の世界は大変だと身をもって知り、学生だったころが懐かしいなと思います。今年で

社会人3年目になるので、これから立派な大人になれる様に頑張っていきたいです。

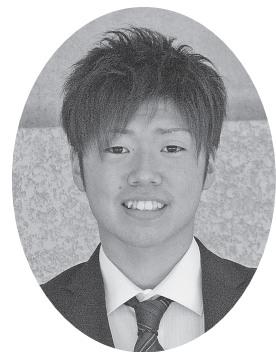
そして、二十年間を過ごすことができたのは、今まで出会った友人や、ここまで育ててくれた家族がいるからです。父と母には感謝をしきれないほど感謝しています。これからは、親に迷惑をかけない様に心がけていきたいと思います。また親友と呼べる友人がいることの大切さに気付きました。これからも長く付き合っていきたいです。

最後に、今までの出会い、これからの出会いを大切にしたい。これからは自分のことばかりでなく、人のことも気づかうことができるように精神的にも大人になって何ごとも一生懸命頑張っていきたいです。



「新成人としての決意」

副実行委員長 望月 京平



二十歳は、人生の大きな節目だと思えます。

今年成人を迎え、私たちは大人への仲間入りをすることになりました。社会的にも認められ、自分の存在証明ができるようになります。二十歳となり、ある程度何をしてもいい、自由だと思いがちですが、その一つ一つの行動には責任がかかってくると思えます。

私はまだ学生で、責任というものをそこまで深く考えたことがありません。しかし、成人を迎えたいま、「学生だからいいや」といった考えをしていたら意味がありません。この機会に自分自身の行動・言動に責任を持つことを心掛け、少しづつでもいいので胸を張れる大人へ近づけるように努力していきたいと思います。



小諸東中学校関係者

今後、仕事をする社会で生活していく中でたくさんの人と触れ合う機会が増えてきます。触れ合っていく上で、その人の善し悪しが判断でき、良い所を吸収し、立派な大人になれるように人一倍頑張っていきたいと思えます。